



日光”焼き”そばまつり

11月24日(日)、今市大通りアーケード街で、もう一つのそばまつり、「日光”焼き”そばまつり」が開催されました。土沢から家族で訪れた黒澤碧都くんは、「来たのは今年で2回目だけど、とても楽しい。焼きそば大好きです」と笑顔で答えてくれました。

参加者が10店舗の焼きそばを食べ比べ、投票する食べ歩きラリーでは、地元日光の「晃のや」が見事グランプリに輝きました。



わたらせ渓谷鉄道イルミネーション

12月1日(日)、わたらせ渓谷鐵道沿線の15駅で、恒例となったイルミネーションの点灯が始まりました。

今回で記念すべき10回目を迎えたこのイベントは、地元冬の風物詩としてすっかり定着しました。足尾地域でも、原向、通洞、足尾、間藤の各駅に灯りがともされ、幻



想的な光景を見に集まった多くの市民や観光客でにぎわいました。通洞駅では、点灯の時間帯に合わせて「日光仮面」が登場し、群馬県桐生市方面からの満員の乗客を乗せた特別列車を出迎えました。わたらせ渓谷鐵道イルミネーションは、2月28日(金)まで毎日点灯されています。



市政・教育功労等表彰式

11月23日(土・祝)、今市文化会館で平成25年度市政・教育功労等表彰式を開催しました。

市政に功労のあった市政功労表彰では12人の表彰を行い、また、教育行政に功労のあった教育功労表彰では156人の表彰を行いました。なお、式の最後には、全受賞者を代表して、山越梯一さん(日蔭)があいさつをしました。



安全で安心なまちづくり推進市民大会

11月16日(土)、今市文化会館で日光市民の安全で安心なまちづくり推進市民大会が開催されました。「安全で安心して暮らすことのできる日光市」をテーマに大会宣言が行われ、羽衣国際大学准教授のにしやんた氏を招いて「いま、私たちができること〜スリランカの津波に学ぶ〜」と題した講演が行われました。

女性サポートセンターまつり



11月16日(土)・17日(日)、清滝地区の女性サポートセンターと清滝体育館で「女性サポートセンターまつり2013」が開催されました。

取材当日の初日、女性サポートセンターでは絵手紙入門講座が、体育館では、ボール体操やキューバサルサダンス、アフリカダンスの各講座が、それぞれ無料で開催されました。

アフリカダンスでは、参加者たちがアフリカンミュージックに合わせて、講師の今村和香子氏の軽快なダンスをまねて、楽しそうに汗を流していました。

また、16日限定で、司厨士協会による500円カレーセットとコーヒーが販売され、大勢の人たちが「おいしい!」と笑顔でカレーを頬張っていました。

期間中、会場には女性サポートセンターでの講座の講師や受講者による、写真やパッチワーク、トールペイント、絵手紙の他、清滝保育園と清滝幼稚園の園児の作品が展示されていました。



生岡神社子供強飯式

11月25日(月)、七里の生岡神社で、市無形文化財に指定されている子供強飯式が行われました。

無病息災や豊作を祈願する伝統行事で、地元の子どもが山伏と強力に扮し、強飯頂戴人に向かってユニークな口上を述べます。山伏が「やい強力、料理をもて」と命じると、床を踏み鳴らして登場した強飯力が、「一粒でも残してはなら



ん」と頂戴人を責め立てます。今回の山伏と強力役は神山嶺くん(東中3年)と神山優明くん(野口小5年)。二人は、「11日間練習を積みました。前回よりも上手くできるよう頑張りました」「声の抑揚や大きさを意識しました。自分が指導役になった時、上手く伝えていきたい」と全力を出し切った様子で話してくれました。



今月の表紙 日光そばまつり

11月21日(木)〜24日(日)に、日光だいや川公園を主会場に、日光そばまつりが開催されました。

市内外のそば店が多数出店した会場は、期間中、子どもから大人まで大勢の観光客や市民でにぎわいました。

天候にも恵まれ、全国のおいしいそばを食べようと会場を訪れた人たちは、それぞれの店のそばの味を楽しんでいました。

会場では、目の前でそば打ちを実演する店も多数あり、集まった人たちは、そばを打つ職人の鮮やかな手つきに興味深く見ていました。

また、そば道具や食品などの物産店も出店し、買い求める人たちで、行列ができていました。

会場を訪れた岩崎正子さん(東



京都)は、「そばまつりには、毎年来ています。そばは好きなのでよく食べます。とてもおいしいですね。来年もまた来たいです」と、笑顔で話してくれました。

家族でそばまつりに来ていた疋田さん(益子町)は、「そばまつりに来るのは今年で3回目です。おいしいそばを食べることができて満足です」と、楽しそうに答えてくれました。

